

巻頭言	職業リハビリテーション—これまでの40年とこれから— 広島文教女子大学 岩崎 貞徳 1
研究と実践報告	キータイピング時のストローク間隔に関する定量的評価法 筑波技術短期大学 石田 久之 2
	就労と生活の自立を支える仕組み 広島市立広島養護学校 草羽 俊之 11
事例報告	企業と地域障害者職業センターの連携による知的障害児の移行支援 和歌山大学教育学部附属養護学校 大谷 博俊 18
大会報告	第32回大会の概要 25
	大会企画シンポジウム 障害者雇用の現状と将来展望 26
	課題別シンポジウム① 高次脳機能障害者の就労支援 34
	課題別シンポジウム② 知的障害および広汎性発達障害のある人の就労支援 41
	課題別シンポジウム③ 精神障害者に対するジョブコーチ支援のあり方 48
特別寄稿	職業リハビリテーション学の体系構築のために —社会・経済の構造と学問の構造をきりむすぶ「概念」(消費者性、労働者性、社会的関係性など)を求めて— 放送大学 大曾根 寛 54
書評	「主体性を支える個別の移行支援」 「個別の教育支援計画に基づく個別移行支援計画の展開」 千葉障害者職業センター 小林 正子 68
	「精神障害をもつ人たちのワーキングライフ—IPS:チームアプローチに基づく援助付き雇用ガイド」 横浜やまびこの里仲町台センター 柴田 珠里 70
投稿規定 71
編集後記	論文審査委員・学会誌編集委員